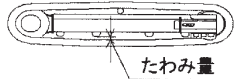
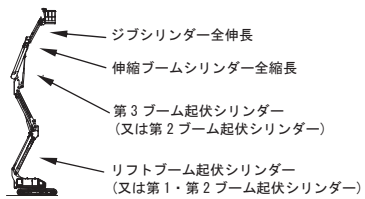
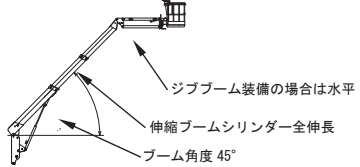
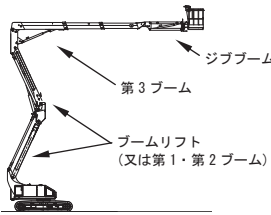
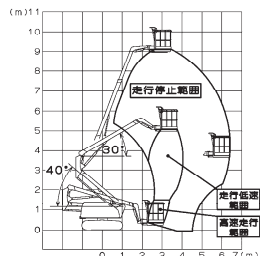


長野工業

適用範囲		モデル名		NUX06C			
		適用号機		6XC10051～			
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	—		
			ハイアイドル	min ⁻¹	—		
		弁すき間	吸気弁	mm	—		
			排気弁	mm	—		
		圧縮圧力	Mpa	—			
	回転速度	(kgf/cm ²)	—				
冷却方式	ファン駆動ベルトの張り ※ベルト押し付け力		mm	—			
			N	—			
			(kgf)	—			
走行装置	履帯	ゴムベルト張り(たわみ量)(※1)		mm	15±20		
	ホイール	ソリッドタイヤ			—		
	走行ブレーキ	制動距離		m	—		
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	11.5		
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm 以下	—		
			左右	mm 以下	—		
		スライディングパッド使用限界	ブーム	—	—		
			上	mm 以下	—		
			下	mm 以下	—		
			左右	mm 以下	—		
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	リフト側	Mpa	15.0		
				(kgf/cm ²)	147		
			走行側	Mpa	15.0		
		(kgf/cm ²)		147			
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	—		
			高速	min ⁻¹	—		
	作動油	—		VG32			
		油温	℃		40±10		
油圧シリンダー	自然伸縮量	各ブーム(※2)	mm/10min	2以下			
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.0±0.5		
			左右	°	3.0±0.5		
	作業範囲 規制装置	リミットスイッチ 作動高さ	高速走行規制高さ(※6)	m	—		
			走行停止規制(※6)	m	1.5以上		
	過積載 規制装置	油圧スイッチ作動重量	上昇可	kg	300		
			上昇不可	kg	330		
総合テスト	作動速度	第1ブーム(リフト) (※4)	上	sec	45±6		
			下	sec	35±6		
		第2ブーム(第3ブーム) (※5)	上	sec	—		
			下	sec	—		
		伸縮ブーム	伸	sec	—		
			縮	sec	—		
		ジブブーム	上	sec	—		
			下	sec	—		
		バスケット旋回	右	sec	—		
			左	sec	—		
		旋回	右	sec/360°	—		
			左	sec/360°	—		
走行		2速	km/h	—			
		高	km/h	1.5±0.15			
		低	km/h	0.8±0.1			

クローラ式 (蓄電池式)

[illegible]

※ 1、クローラ張り調整 1、クローラを地面から浮かせて下さい。 2、クローラの中央部に最も近いトラックローラ下面とクローラの転動面との間隔（たわみ量）を測定します。 3、たわみ量が規定値となる様にアジャストシリンダーのグリス量を調整します。	※ 2、ブームシリンダー自然降下量測定 1、伸縮ブームシリンダーを全縮長にします。 2、各ブームシリンダーを最伸長にします。 3、そのままの姿勢で10分間放置しシリンダーの縮み量を測定します。
	
※ 3、伸縮シリンダー自然降下量測定 1、伸縮ブームを全伸長にします。 2、ブーム起伏角度を45°にします。 3、そのままの姿勢で10分間放置し伸縮ブームの縮み量を測定します。 4、ジブブーム装備の場合は水平にします。	※ 4、5 ブーム作動速度 ※NUL120-2の場合ブームの名称が異なります。 第1ブーム→ブームリフト（第1、第2ブームの同調起伏） 第2ブーム→第3ブーム
	
※ 6、走行規制高さ 1、バスケットが地上から規定の高さ以上上昇した場合に走行が停止又は減速します。 2、走行が停止又は減速した際スケールにてバスケットの作業床から地面までの高さを測定します。 3、ブームの規制角度、長さはサービスマニュアルを参照して下さい。	NUL090-5, 6 走行規制高さ 
NUL120-5, 6 走行規制高さ 